

特別展 ピースおおさか開館30周年記念



どうぶつの いのちと未来

～戦時下の天王寺動物園とこれからの未来～

3/30 まで期間延長

2021 (令和3)年 9/1(水) ～ 12/26(日)

午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日：毎週月曜日、12/28～1/4、1/11、2/15、2/24、3/22

会場：ピースおおさか 1階 特別展示室

入館料：大人250円、高校生150円、中学生以下は無料、
65歳以上・障がい者の方も無料(要証明書)、
20名以上は団体割引

主催：ピースおおさか(公益財団法人 大阪国際平和センター)

協力：地方独立行政法人天王寺動物園

後援：大阪府、大阪市、大阪府教育委員会、大阪市教育委員会



<http://www.peace-osaka.or.jp>

〒540-0002 大阪市中央区大阪城2-1

TEL 06-6947-7208 FAX 06-6943-6080

JR森ノ宮駅(北出口)・Osaka Metro森ノ宮駅(1番出口)

写真:子どものライオンと飼育員の原さん 提供:地方独立行政法人天王寺動物園

戦争によって 犠牲になるのは 人間だけでは ありません。

動物も戦争に巻き込まれ、傷つき、そして犠牲になりました。

戦時中、全国の動物園では悲劇的なことが起こりました。

大阪の天王寺動物園も例外ではなく、動物たちは
食糧不足から餓死したり、殺処分されたり、
空襲で命を落としたりしました。

今現在も、戦争・紛争や開発や温暖化による自然環境の悪化などで
傷つき、絶滅しかけている動物がたくさんいます。

そのような中、動物園では将来にわたって野生動物を守るため、
さまざまな取り組みを行っています。



殺処分されたヒョウと飼育員の原さん
提供：地方独立行政法人天王寺動物園



軍装したチンパンジーのリタ
提供：地方独立行政法人天王寺動物園



天王寺動物園に運ばれるソウの春子
提供：地方独立行政法人天王寺動物園

過去の悲劇、そして現在の動物を取り巻く環境を学び、 戦争や平和について考えてみましょう。

*来館の際は必ずマスクをご着用ください。
また、体調不良の方のご来館はお断りさせていただきます。
詳しくは当館HPをご覧ください。
<http://www.peace-osaka.or.jp>

〒540-0002 大阪市中央区大阪城2-1
TEL 06-6947-7208 FAX 06-6943-6080
JR森ノ宮駅(北出口)・Osaka Metro森ノ宮駅(1番出口)

